

愛媛県地盤工学会学術講演会

土木技術に魅せられて

～若手技術者に伝えたいこと～

私の仕事の流儀

2014年8月1日 愛媛大学交友会館

(株)第一コンサルタンツ
右城 猛

お話しする内容

1. これまでに心掛けてきたこと
2. 人生の師との出会い
 - 吉田博先生, 八木則男先生, 成岡昌夫先生
3. 最近思うこと
 - 運の周期性
 - 昨日の常識は今日の非常識
 - 示方書や指針は完璧でない

心掛けてきたこと(1) 誠実であること

- 「誠実」とは言ったことを成し、実らせる。つまり、約束を守る。⇒誠心誠意尽くす
- すぐ仕事に取りかかる。とりあえず60点まで仕上げる。⇒納期を厳守
- 早ければ、手直しが効く。⇒品質が高い仕事
- お客さんから高い信頼が得られる。

心掛けてきたこと(2) 納得できる仕事をする

- マニュアル, 前例主義に囚われない。
- 納得した仕事は楽しい⇒フローな精神状態
- 思考を継続していると, 遺伝子のスイッチがオンになり解決策がひらめく。
- 成功の三要素は「運・鈍・根」
- 賢くて目先の利く人は意外と成功しない

心掛けてきたこと(3) 頼まれた仕事を断らない

- 日程が重なっていなければ原則引き受ける。
- 考え, 調べ, 人に聞けば何とかなる。
- 失敗を恐れては何もできない。
- 難しい仕事ほど, 人間力や技術力を高める。
- 成功体験を積むことが大切。

心掛けてきたこと(4) 情報を積極的に発信する

- 知り得たノーハウは公表し、手の内をすべて明かす。
- Q&Aは、技術を磨く最高の方法。
- 自分の行動をウェブ上でオープンにする。
- 情報は発信しないと集まってこない。発信すれば倍返ってくる。

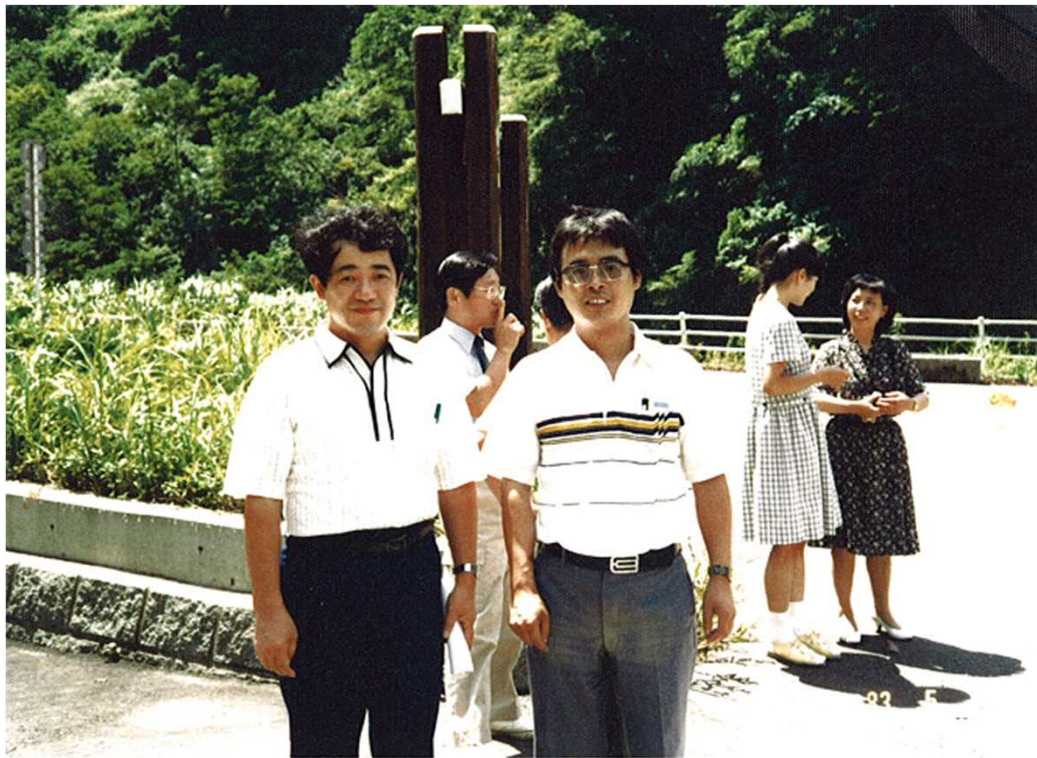
心掛けてきたこと(5) 心の財(たから)を蓄える

- 順風満帆は，知人や友人の助けのお陰
- 多くの人と出会い，食事をし，語り合う。
- 『蔵の財よりも身の財すぐれたり 身の財よりも心の財第一なり』(日蓮)
- かけた情けは水に流せ，受けた恩は石に刻め。



師との出会い(1) 吉田博先生

- 昭和58年, 昭和51年に金沢大学で, 「落石の衝撃力およびロックシェットの設計に関するシンポジウム」
- 昭和63年に, 「北陸道路研究会35周年記念シンポジウム」



師との出会い(2) 八木則男先生

- 平成3年7月に信州大で土質工学研究発表会
- 平成3年8月に愛大の八木研究室を訪問
- 平成9年に「剛性擁壁の合理的な土圧評価法と落石の運動に関する研究」で博士の学位。

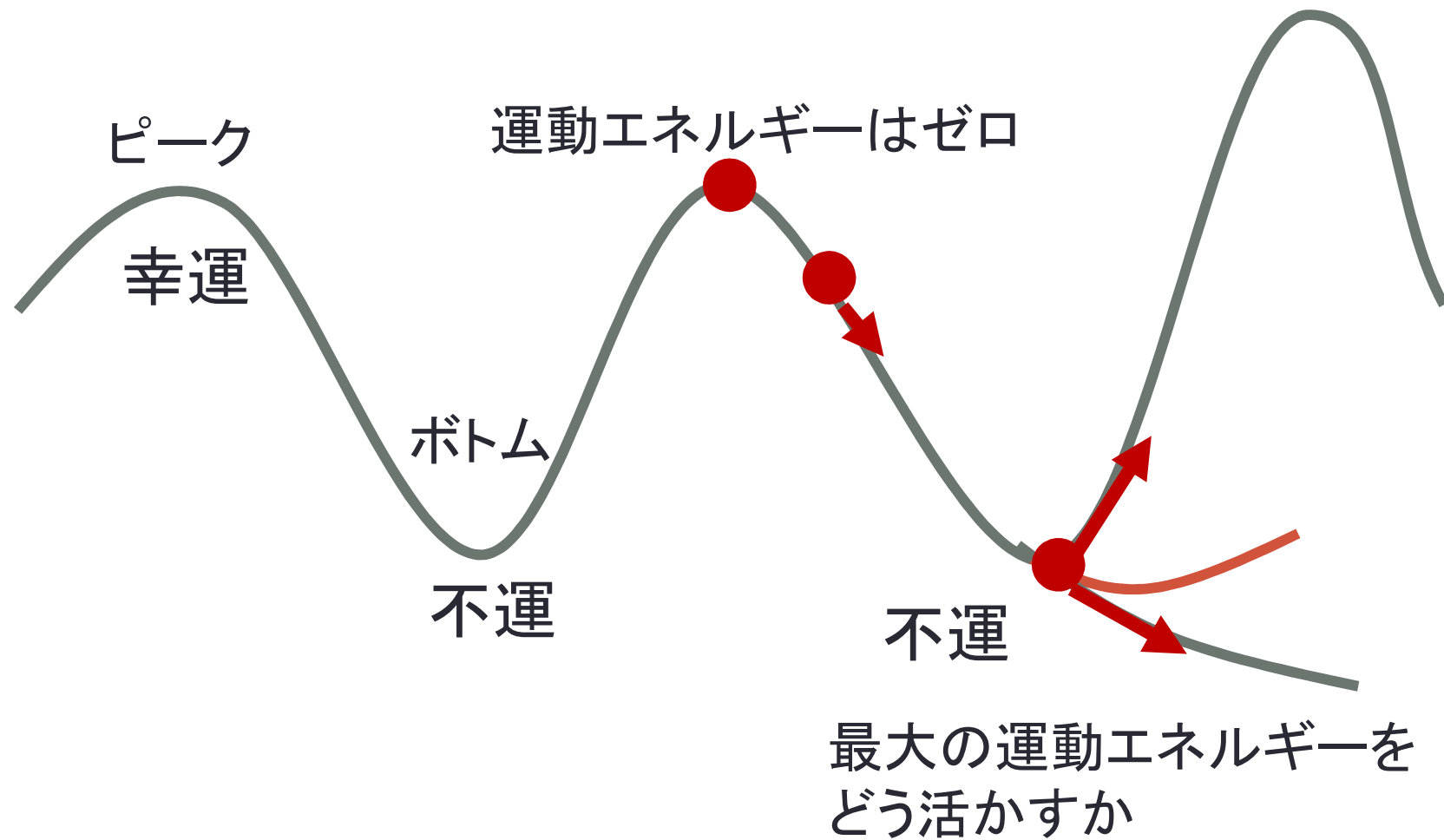


鉄の団結を誇った八木研究室
(2001.6 徳島ワシントンホテルにて)

出会いの秘訣

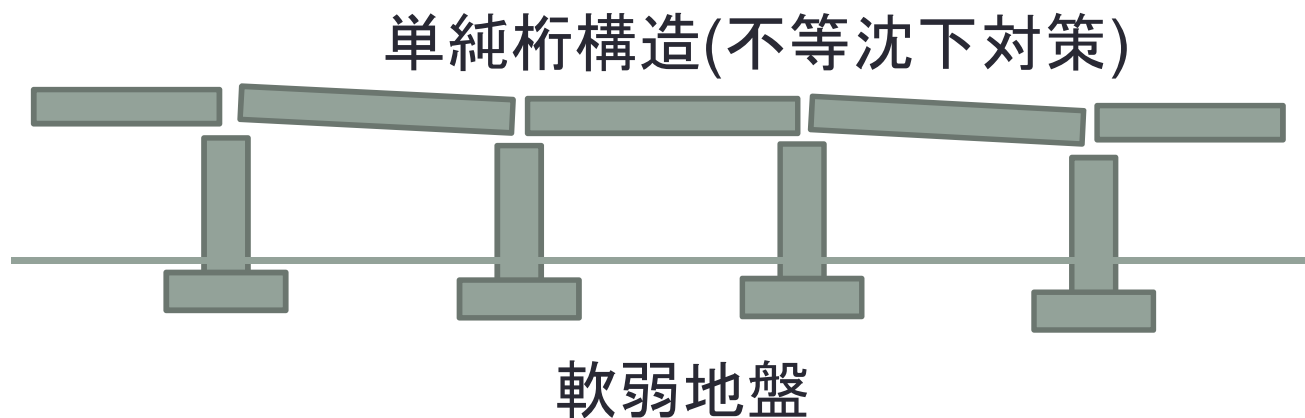
1. 「人生， 出会うべき人には必ず出会う。しかも， 一瞬遅からず， 早からず。しかし， 内に求める心なくば， 眼前にその人ありといえども縁は生じず」(森信三)
2. 「あの人のようになりたい」「あの人と親しくになりたい」という強い願望。
3. 会合やパーティーへの誘いを断らない。参加して積極的に発言する。

最近思うこと(1) 運の周期性

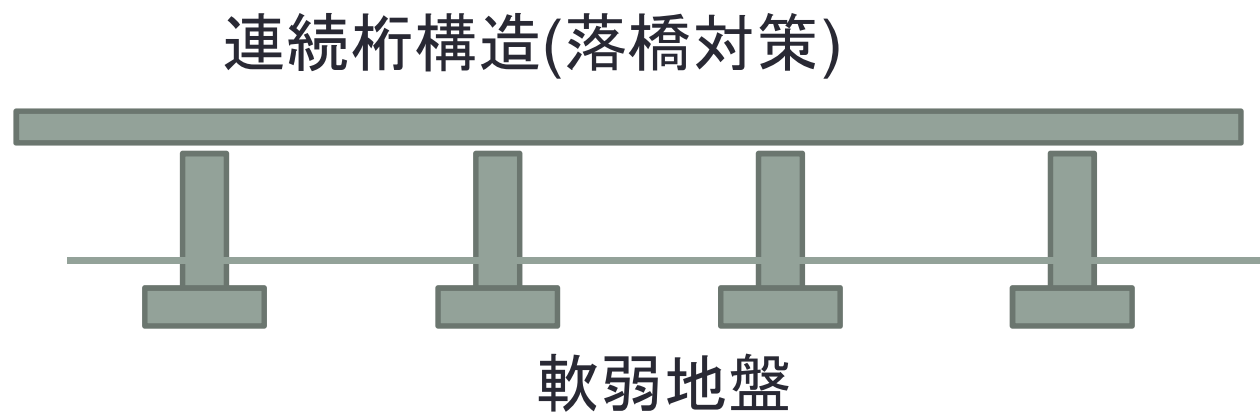


最近思うこと(2) 昨日の常識は今日の非常識(1)

従来

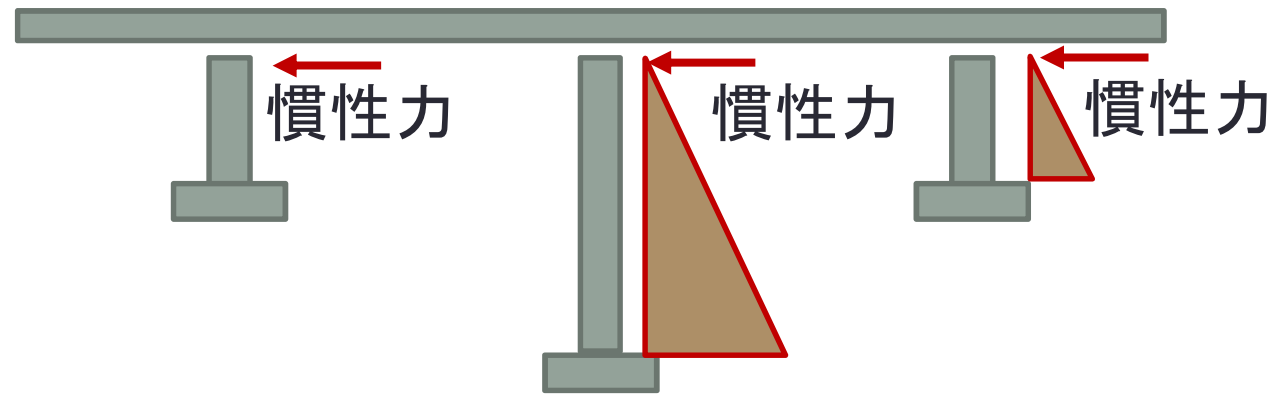


今日

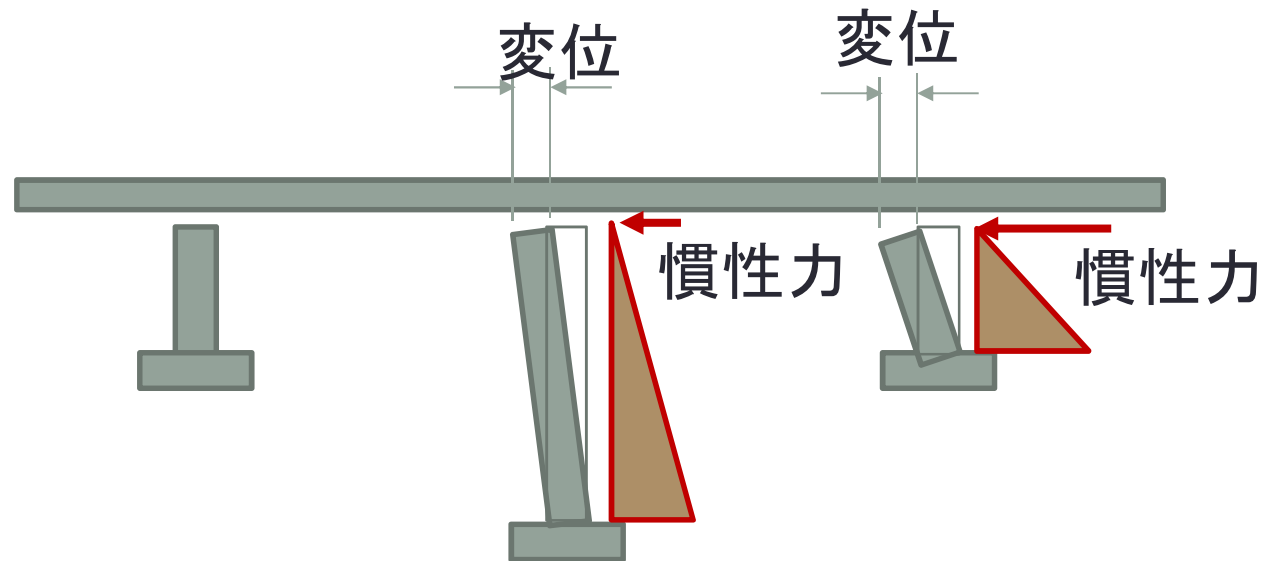


最近思うこと(2) 昨日の常識は今日の非常識(2)

従来

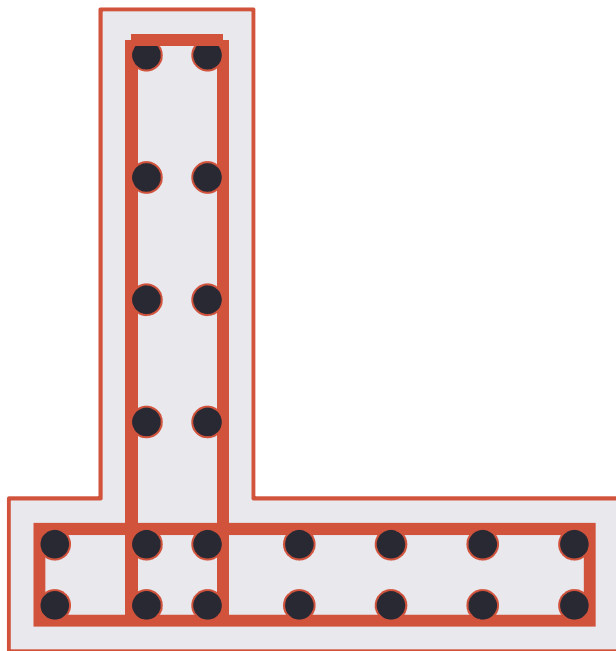


今日



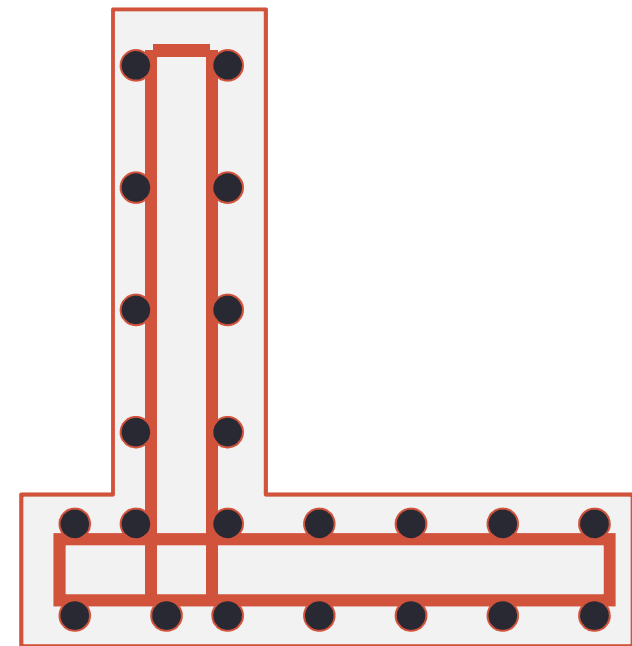
最近思うこと(2) 昨日の常識は今日の非常識(3)

従来



配力筋は主鉄筋の内側

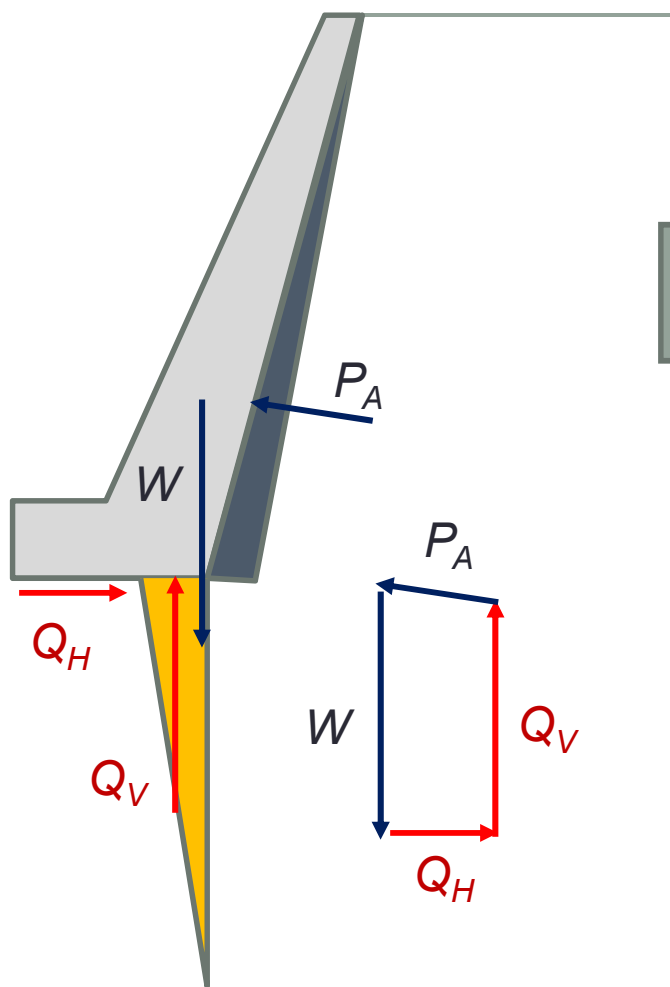
今日



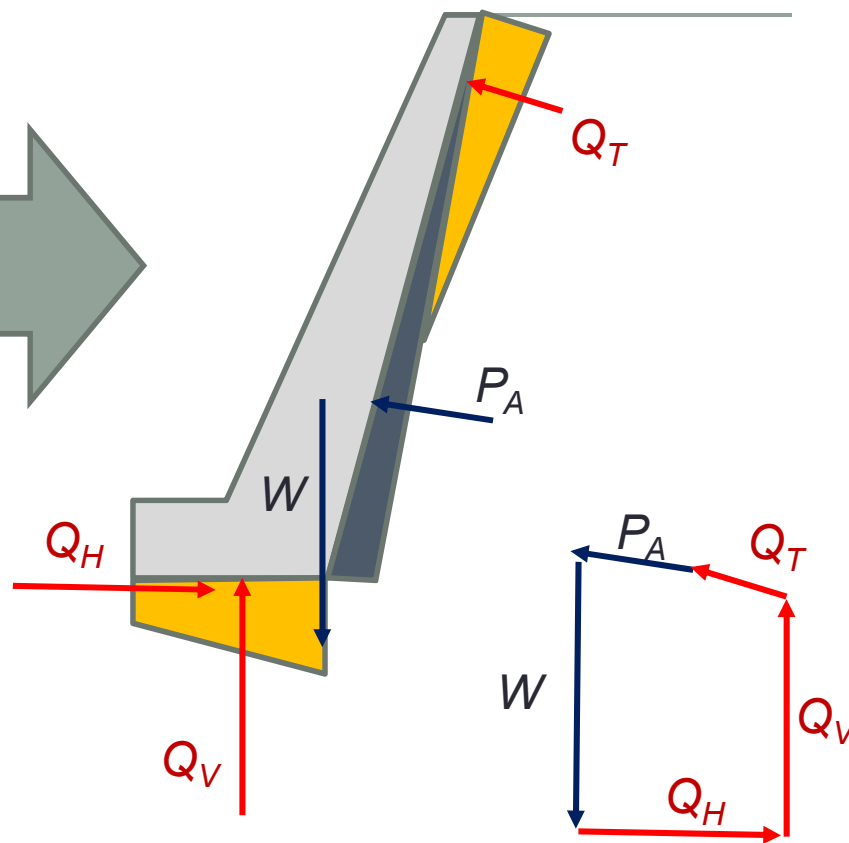
配力筋は主鉄筋の外側

30年間主張し続けて常識を変えた

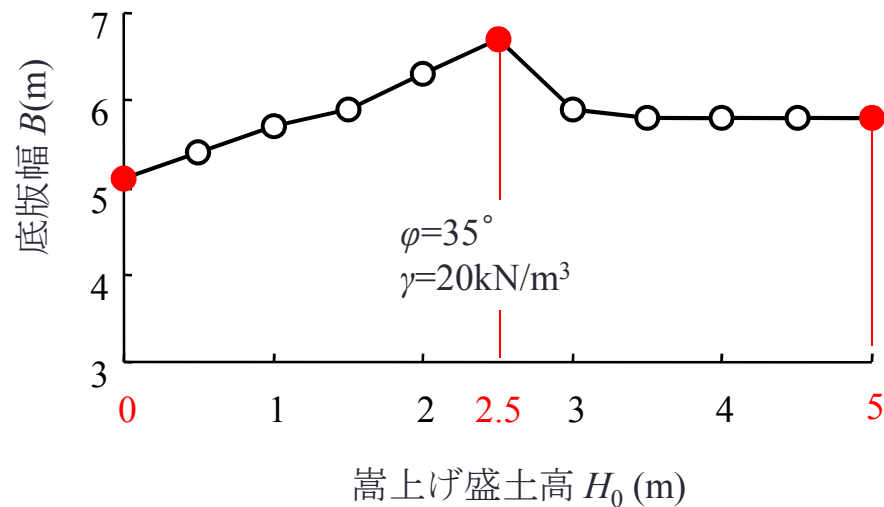
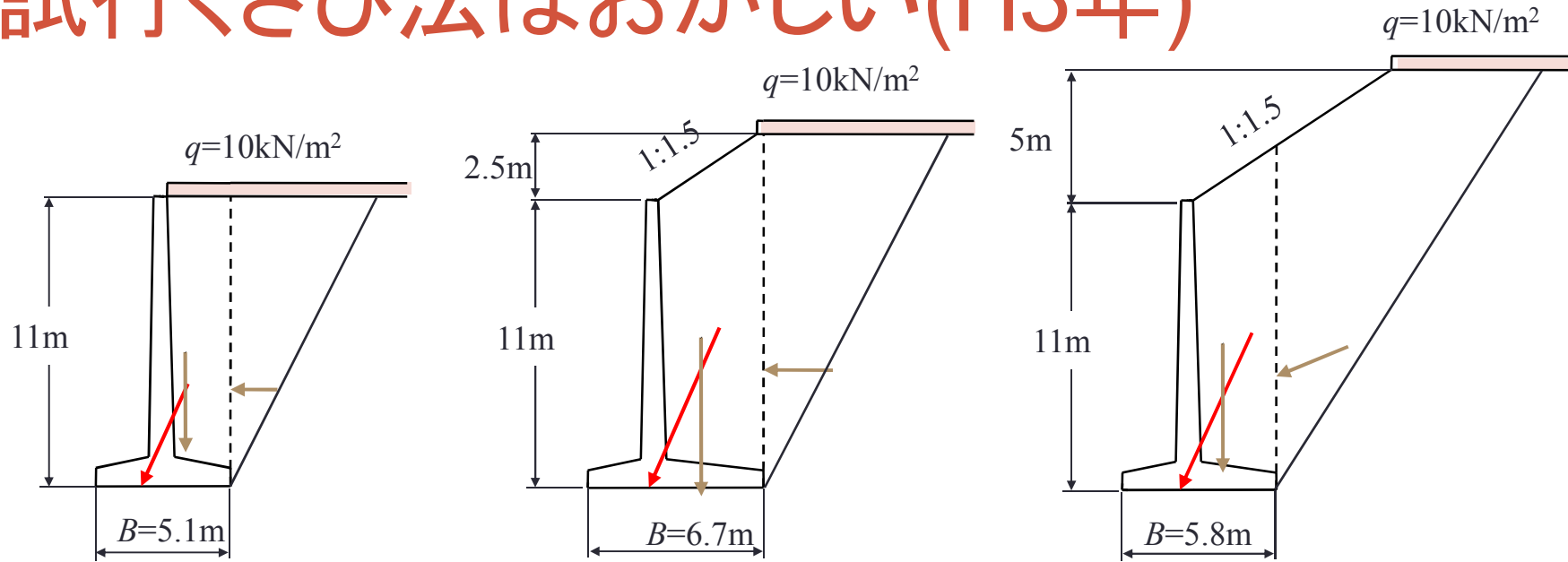
以前の擁壁工指針



H24年版擁壁工指針



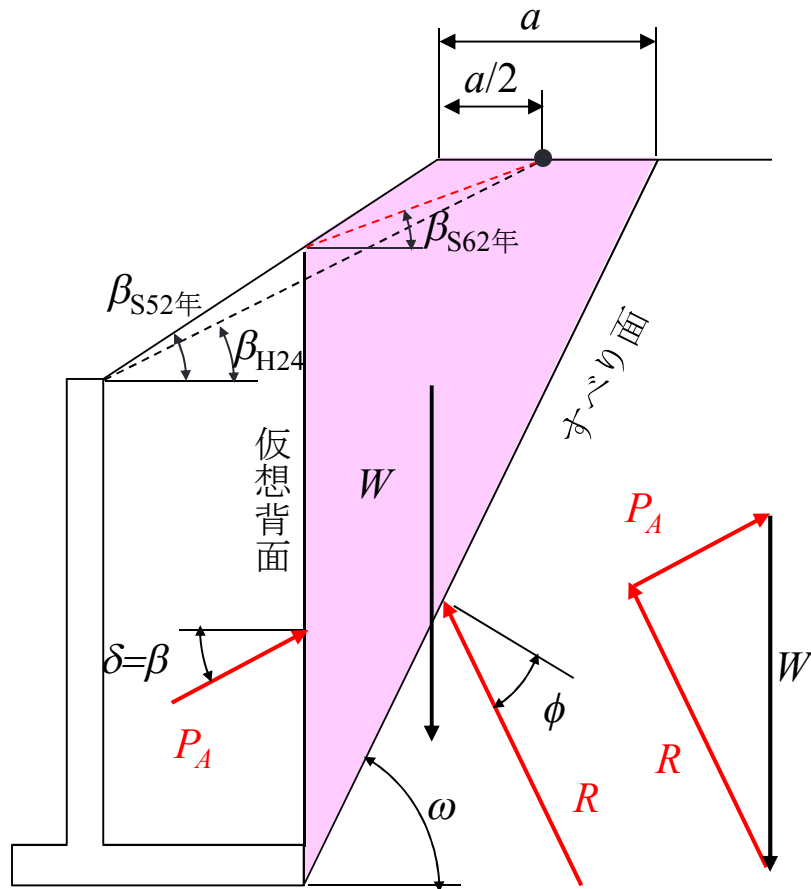
試行くさび法はおかしい(H3年)



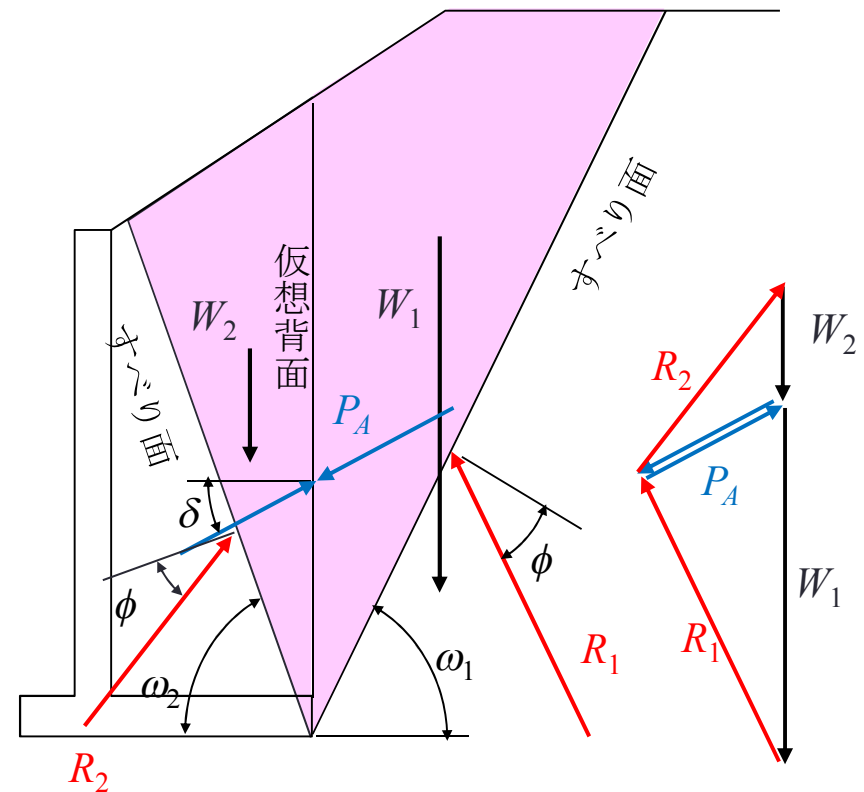
大型逆T型擁壁標準設計図集
(高知県窪川土木事務所, 1991)

20年間程度では常識を変えられない

擁壁工指針の試行くさび法
S52,S62,H11,H24年



右城による改良試行くさび法
(H1年)



示方書や指針は完璧でない

- バイブルのように思ってきた道路橋示方書や道路土工指針でも力学的問題や理論的矛盾がある。
- 技術は経験工学。現象を観察し、仮説を立て、モデル化し、新たな理論式をたてる。現象を理論的に説明できるか検証する。これを繰り返すことで、経験が蓄積される。
- 同じことを繰り返していたのでは、経験は生まれない。技術者として成長しない。
- 使う数式は自分で誘導してみる。前提条件を知ることが大事。
- マニュアルは作るもの。覚えるものではない。分かって使わないと過ちのもと。